

練馬・文化の会 会だより

共同代表：相川充弘 岡部昭 加藤久晴 小沼綾子 古賀義弘 田場洋和
事務局：森田彦一 TEL：03-3951-4276 FAX：03-3951-0616

(会費などの郵便振替：00150-7-130265 練馬・文化の会) ホームページ <http://www.nerimabunka.com/>

区議会への署名（集団的自衛権）とNHKハガキのお願い

「集団的自衛権の憲法解釈を変更しないよう」区議会として国に求める署名（同封のマンガチラシの裏）活動が練馬労連が事務局となって精力的に進められています。練馬の場合、区内に自衛隊の基地を抱えていることもあって、すでに署名は7千を超え、その取り組みは「週刊金曜日」（同封）でも取り上げられています。

また先日文化の会の講演に協力いただいた「放送を語る会」から、NHK経営委員会の靱井会長の任命責任を問うハガキ送付の協力が求められました。先日のねりま9条の会の「孫崎・松元」講演会でも焦点になったのは集団的自衛権の問題とマスコミの安倍礼賛・墮落報道の問題です。是非ご協力下さい。（田場記）

8月2日の「陸軍登戸研究所」上映会を満杯に！

会員に1人2枚のチケット同封（当日受付でお支払いを、未使用は廃棄を）

日本の隠された謀略戦の秘密を描いた「陸軍登戸研究所」が、8月2日、練馬区役所多目的会議室で2回上映されます。同映画の制作に当たっては、2009年に武蔵大学の協力、小岩昌子さんの出演で制作・放送された「風船爆弾」の映像が使われています。

3時間の長編映画、前売り1000円は格安

当初は4時間の大作でしたが、会の加藤氏などの助言で1時間短くなりましたが、それでも3時間の長編ドキュメンタリー。上映料金は通常は1500円程度になりますが、制作に協力した文化の会の上映会のため1000円という料金に落ち着きました。東京での自

主上映ではトップを切っての上映です。区役所多目的ホールは定員は200名。2回上映で計400名が満杯です。

すでに「週刊金曜日」「レイバーネット」「区報」などでのイベント記事掲載は決まっていますが、文化の会としてはこれまでになく多数のチケット販売が求められる取り組みです。会員には一人2枚送りますので、是非上映会にお越し下さい。（来られた方は受付で料金お支払い下さい。来られない方は手元でチケット廃棄してください）。当日スタッフなどでも会員の皆さまの絶大なご協力をお願いいたします。（田場記）

登戸プレ企画として「テレビみつがしわ」戦争4部作上映会

7月10日（木）後7時～石神井庁舎5階会議室 500円

「戦争を見る。戦争に恐怖する。」をキャッチフレーズにしたチラシをご覧ください。文化の会と武蔵大や立教大との共同制作により、2008年から2013年までの5年間で10本の番組「テレビみつがしわ」

（15分～30分）をJ；COMで放送してきました。このうち4本が「戦争」ものでした。「登戸」上映を機に、この4本の上映会を企画しました。そして作られたチラシが「戦争を見る。」です。



戦後70年、戦争を知り・語る人が少なくなる中では、こうした戦争を記録したドキュメンタリーはますます貴重になっています。文化の会（プロデューサーは加藤久晴氏）が大学と共同制作したのはどんな番組なのか。この機会に是非ご覧下さい。

この4作を1本のDVDに収録したのも、小集会用に廉価で販売しています。詳しくは事務局（森田さん）あて、ご連絡ください。

大内氏の「集団的自衛権」の2回の連続学習会、共に石神井庁舎で
第2回は「日米安保」テーマに6月22日（日）午後2時～
第3回は「東アジアの平和」テーマに7月19日（土）午後6時半～

第1回の「集団的自衛権」大内講演は5月17日、職員研修所で50名近い人の参加がありました。9条が瓦解し、憲法そのものが形骸化するという危機感があったためか、活発な質疑が交わされました。

国会の論議も始まり、年末の日米による防衛協力の指針（ガイドライン）に向け秋ごろには閣議決定しかねないという緊迫した状況を迎え、国民一人一人のこの問題に

対する正確な対応が求められています。

区議会の「国会への意見書提出を求める」署名への会派周りでも、「まず勉強。学習しなければ」という意見が目立ちました。駅頭宣伝などでも子供たちが「勉強している」と言っているとか……。第2回、第3回は「集団的自衛権」論議の中で、深められる必要があるテーマを取り上げて論じていただきます。

大内さんが第1回講演パンフを作成（同封）
小集会などでご活用下さい
（残部あり、お求めは事務局まで）

大内さんに第1回講演の内容をA4・11ページの小冊子にまとめていただきました。

「集団的自衛権」を考える際の基本的内容、とくに最近の国会論議などをわかり易い筆致でまとめています。

小集会などでの参考資料として大変使いやすい内容になっています。

残部が少々ありますので、お求めがあれば、事務局（森田さん）までご連絡ください。

練馬・文化の会第43回総会記念講演
安倍政権の「積極的平和主義」は
日本をどこへ導くか？
講師 大内要三さん



沖縄：辺野古・高江等の闘い描いた「標的の村」上映会

6月20日(金) 練馬文化センター小ホール 第1回・午後2時半～ 第2回・午後6時半～
 それぞれに屋良朝博・元沖縄タイムス論説委員の講演あり前売り：1000円
 (電話で田場迄3991-9165お申込みを、会場でお支払い下さい)

沖縄の地方紙：琉球新報・沖縄タイムスと全国紙の紙面を比べると、報道の仕方の違いにビックリさせられます。2012年9月に住民によって米軍・普天間基地が封鎖されたという出来事は、現地紙は1面トップ扱い、全国紙は無視ということです。本土の日本人はそうした状況に浸りきり、日本の米軍基地の74%が沖縄に集中していることを忘れ、差別しているのではないのでしょうか？

そうした沖縄の現実を、琉球朝日放送・三上知恵監督が告発したのが「標的の村」です。オスプレイ配備に反対している北部・高江村では防衛省が住民を通行妨害で訴えるというSLAPP裁判まで起きています。ジャーナリスト会議JCJ賞など各種賞を総ナメにした秀作です。この機会をお見逃し無く！

(田場記)

第43回練馬・文化の会美術会展

6月25日(水)～29日(日) 練馬区立美術館で

今年も「練馬・文化の会美術会」の展覧会が、6月25日(水)から29日(日)まで、練馬区立美術館(中村橋駅北口)で開かれます。

「練馬・文化の会美術会」は「練馬・文化の会」の発足当時から、今年で43回目を迎えます。絵画、彫刻、工芸など200点以上

が展示されます。参加者も会員だけでなく、多くの美術愛好家も自信作を持ってくるといいます。展示期間内には、例年2000名以上が訪れます。

この美術会展には練馬区教育委員会も後援しており、練馬区内では欠かせない行事になっております。

第3回練馬の明日をひらく文化フェスタ

7月13日(日) 生涯学習センター(旧公民館)

3回目を迎える「練馬の明日をひらく文化フェスタ」が、7月13日(日)午後1時から練馬生涯学習センターホールで開かれる。

今回のゲストは、ピアノ演奏で地元の日色敏子さんがグロダナス作曲「アンダルーサ」などのソロと「1本のえんぴつ」のピアノと朗読などを演奏する。また、しろたにまもるとゴローちゃんが腹話術で出演しま

す。

地元の仲間達は、オカリナ演奏、独唱、津軽三味線、民謡、安来節、コーラスなど多彩な演奏を12組が出演し、皆さんを楽しめる予定です。

主催は、日本共産党文化後援会などで、参加費は、500円です。

第42回練馬・文化の会の総会(5月17日)に約30人が出席

2014年度の活動方針、予算、新役員など決める

文化の会の第42回総会が、5月17日(土)に練馬区職員研修所で大内要三さんの第1回集団的自衛権の学習会終了後に、約30人が出席して行われました。

まず議長に田場さんを選出したあと、森田事務局長から議案書にもとづき(同封)13年度の活動経過報告と14年度の活動方針が提案されました。

活動経過では8回にわたるフリートークに取り組み、とくに秘密保護法やNHK会長の暴言問題など、タイミングにあわせたテーマで世論形成の先駆的な取り組みがあり、NHK会長暴言などの学習会には90人近い参加があり大きな反響をよんだ。また有原さんを中心に「はだしのゲン」問題に取り組み、練馬区だけでなく、東京都の教育委員会でも閲覧維持の成果を上げた。

活動方針では8月2日の3時間の長編ドキュメンタリー「陸軍登戸研究所」上映会の取り組み、関連しての7月10日の「テレビみつがしわ」戦争4部作上映会がとりあげられ、集団的自衛権行使への反対世論盛り上げに

向けてもこれらを成功させることの重要性が指摘された。

13年度決算、14年度予算案は轡田事務局次長から提案があり、ここにきて「テレビみつがしわ」制作が滞っていることもあって、予算的には余裕が出ていることなどが報告され、中村・小岩両監査から「収支会計は正確に行われている」との報告があった。最後に森田事務局長から14年度の下記の新役員体制の提案があり、議案、予算も含めて一括採択された。

○ 14年度文化の会の役員体制

〈共同代表〉相川充弘、岡部昭、加藤久晴、古賀義弘、小沼稜子、田場洋和

〈幹事〉浅原修一、有原誠治、小田原美保、大平真紀、轡田英夫(事務局次長・連絡担当)、小岩昌子、片山むぎほ、島田孝二、立川君子、中村茂樹、荷口鉄雄、眞嶋康雄、宮下智行、森田彦一(事務局長)、吉田巳蔵

〈会計〉大平真紀、轡田英夫、立川君子

〈会計監査〉小岩昌子、中村茂樹

“川内原発を再稼働させるな!” 28日(土) 首都大行進

川内原発の再稼働反対のために、6月1日(日)には、首都圏反原発連合主催で、国会前抗議行動を成功させました。午前中には、練馬でもそれに呼応して練馬駅前の平成つつじ公園を出発して、練馬駅周辺をパレード。130名を超える参加があり、終了後、平成つつじ公園で集会を持ちましたが、乳母車の人、足が悪い人、太鼓をたたく人、ピカチュウのぬいぐるみを着る人、創意工夫を重ね、「川内原発許すな」だけでなく、自然・再生エネルギーを推進しようと言うスローガンも並びました。「フクシマを絶

対忘れない」という強い意志のもと頑張って、パレードをして、午後には、官邸前に50名近くが参加いたしました。

28日(土)には、首都圏反原発連合とさよなら原発1000万人アクション、原発をなくす全国連絡会の三者が集まり、13:00から明治公園で大集会、14:30から首都大行進(デモ)を行います。メインは「川内原発を再稼働させるな」であります。福島からの報告、画期的な司法判断があった大飯原発裁判についてもはなしがあります。

是非参加いたしましょう。(森田記)

年会費納入のご案内

会費未納の方には振り込み用紙同封しましたので、よろしく!

会費等の問い合わせは会計担当の轡田氏(3948-5129)まで